

1 調査名称：弘前市街路交通調査解析業務

2 調査主体：弘前市

3 調査圏域：弘前都市圏

4 調査期間：平成28年度

5 調査概要：弘前市における都市計画道路は、62路線、約128kmが都市計画決定され、現在21路線、約39kmが未整備でその内、都市計画決定後40年以上が経過している路線は約92%となっています。

当市は、平成26年度に都市計画マスタープランを策定し、また、平成28年度末に立地適正化計画を策定することから、将来の都市像にも影響がある都市計画道路の必要性を検証するため、将来交通量や都市計画道路を見直した場合の影響等を調査し、将来の都市計画道路網の構築を図るものとして活用するものです。

## I 調査概要

1 調査名称 弘前市街路交通調査解析業務

2 報告書目次 序 業務概要

序－1 業務の目的

序－2 業務概要

1 計画見直し試案路線

2 交通解析

2－1 現況交通量推計

2－2 将来交通量推計の概要

2－2－1 推計ケース

2－2－2 将来ネットワーク

2－2－3 配分手法

2－2－4 将来交通量推計条件

2－2－5 ゾーニング

3 路線別評価カルテ

4 計画継続路線の重要度評価（参考）

4－1 評価の視点、評価点

4－2 評価結果

3 調査体制

委員会や幹事会等の設置はなし

4 委員会名簿等：

## II 調査成果

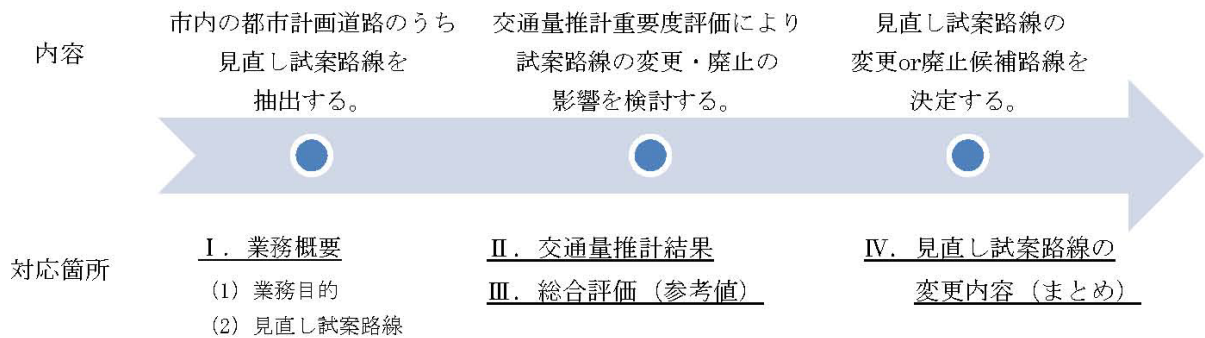
### 1 調査目的

弘前市における都市計画道路は、62 路線、約 128km が都市計画決定され、現在 21 路線、約 39km が未整備でその内、都市計画決定後 40 年以上が経過している路線は約 92%となっています。

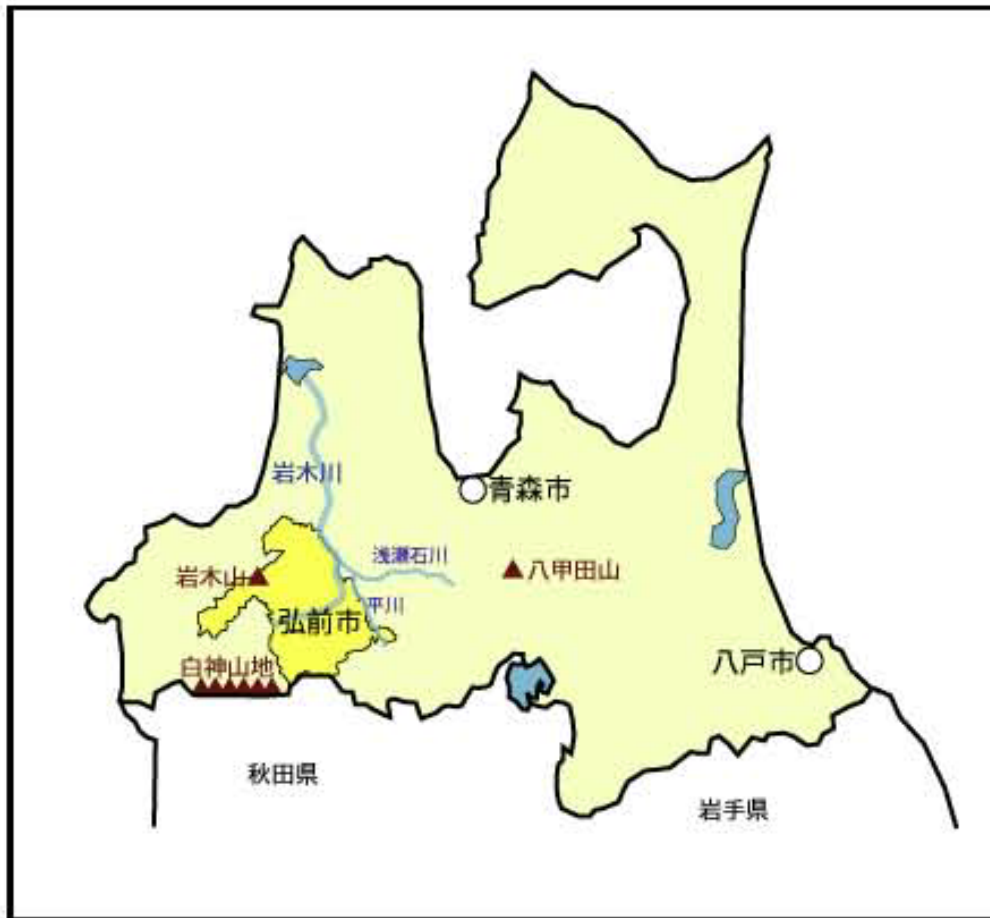
当市は、将来予測において平成 47 年までに総人口の約 2 割が減少し、また、高齢化率も総人口の約 4 割になる見込みであることから、今回本調査を実施し、想定した都市計画道路網に対し、推計される将来交通量を配分し、将来必要な都市計画道路を明らかにするとともに、見直しの検討資料とするものである。

### 2 調査フロー

#### (3) フロー



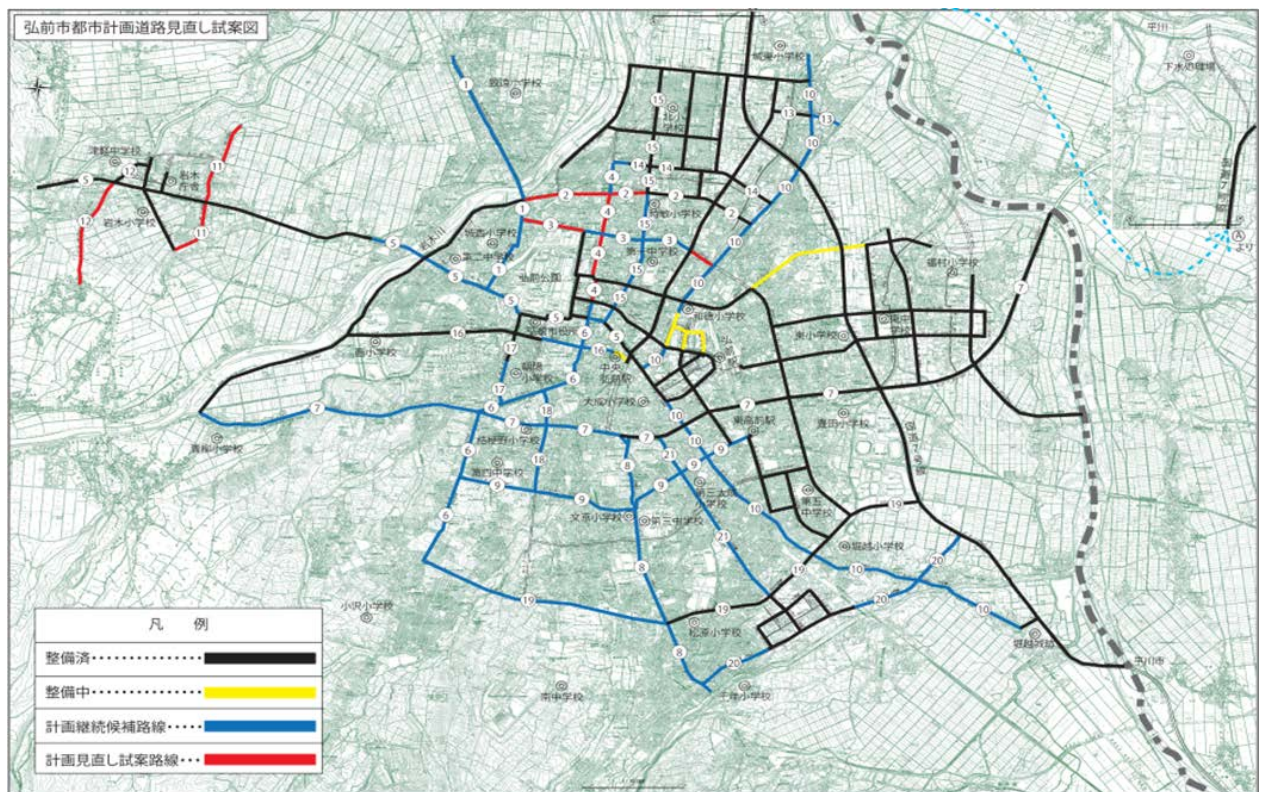
3 調査圏域図



4 調査成果

整理番号	路線名	整理番号	路線名
1	3・4・8号 鷹匠町石渡線	12	3・5・39号 賀田兼平線
2	3・3・8号 紺屋町和徳町線	13	3・5・42号 撫牛子停車場線
3	3・4・20号 紺屋町野田線	14	3・4・18号 東城北宮川線
4	3・3・10号 元寺町向外瀬線	15	3・4・11号 土手町向外瀬線
5	3・4・7号 弘前宮地線	16	3・4・6号 山道町樋の口町線
6	3・4・4号 元寺町小沢線	17	3・4・5号 上白銀町新寺町線
7	3・3・7号 弘前黒石線	18	3・4・3号 新寺町桔梗野線
8	3・4・2号 富田千年線	19	3・5・2号 堀越大原線
9	3・5・3号 小比内桔梗野線	20	3・4・34号 門外千年線
10	3・4・1号 和徳堀越線	21	3・5・4号 御幸町大清水線
11	3・5・38号 真土野崎線	22	8・7・2号 堅田2号線(自転車歩行者専用)

は見直し試案路線。(本業務の対象路線)



## 5 将来交通量推計

推計ケースは、下表の4ケースとする。

推計ケース	検討内容
フルネット	都市計画道路を全線整備したケース
見直しケース1	下図の幅員縮小路線と廃止路線を反映したケース その他の未整備路線は全て整備する
見直しケース2	未整備路線を全て整備しないケース
見直しケース3	見直しケース1で混雑度が高くなった路線を継続としたケース

### ○将来ネットワーク

将来ネットワークは、「平成21年度 街路交通調査業務委託」（以下、H21 過年度成果と称す）のネットワークをベースとして、H21 過年度成果で廃止となった路線を除外して作成した。

### ○配分手法

交通量推計は、H21 過年度成果に準拠し、道路交通センサスをベースにした国土交通省や地方自治体で広く用いられている「高速転換率併用分割配分法」を採用して行った。

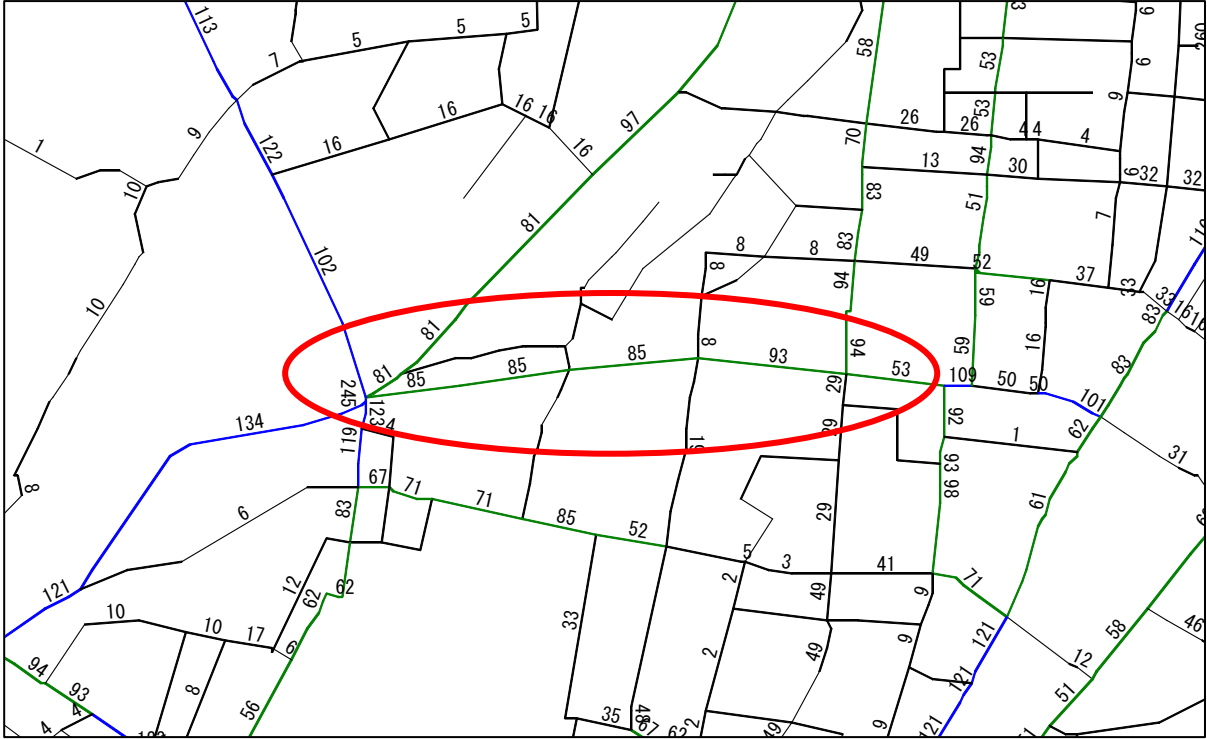
### ○混雑度

- ・ 1.0 未満・・・昼間12時間を通じて、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。
- ・ 1.0～1.25・・・昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1～2時間（ピーク時）ある。何時間も混雑が連続するという可能性は、非常に小さい。
- ・ 1.25～1.75・・・ピーク時はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性の高い状態。ピーク時のみの混雑から日中の連続的混雑への過度状態と考えられる。
- ・ 1.75 以上・・・慢性的混雑状態を呈する。

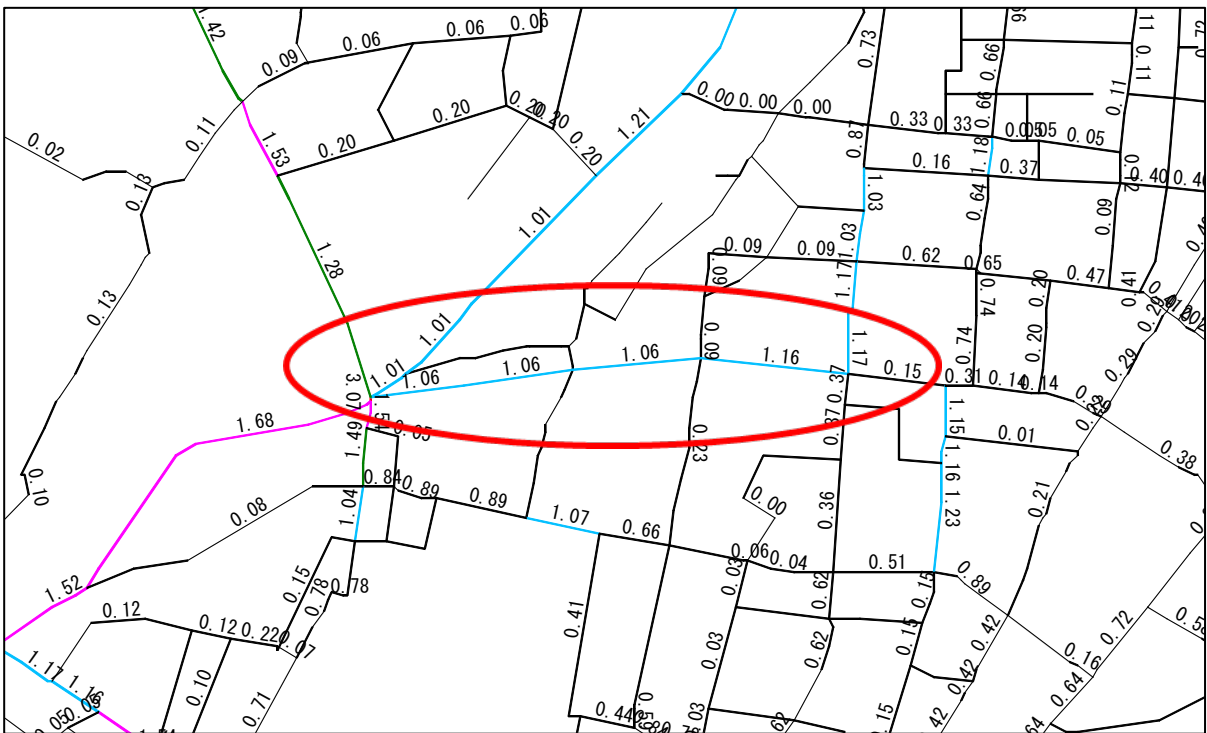
5-① [ 都市計画道路の計画見直し路線 整理番号2 ]

路線名：3・3・8号 紺屋町和徳町線

交通量 (台/日)



混雑度



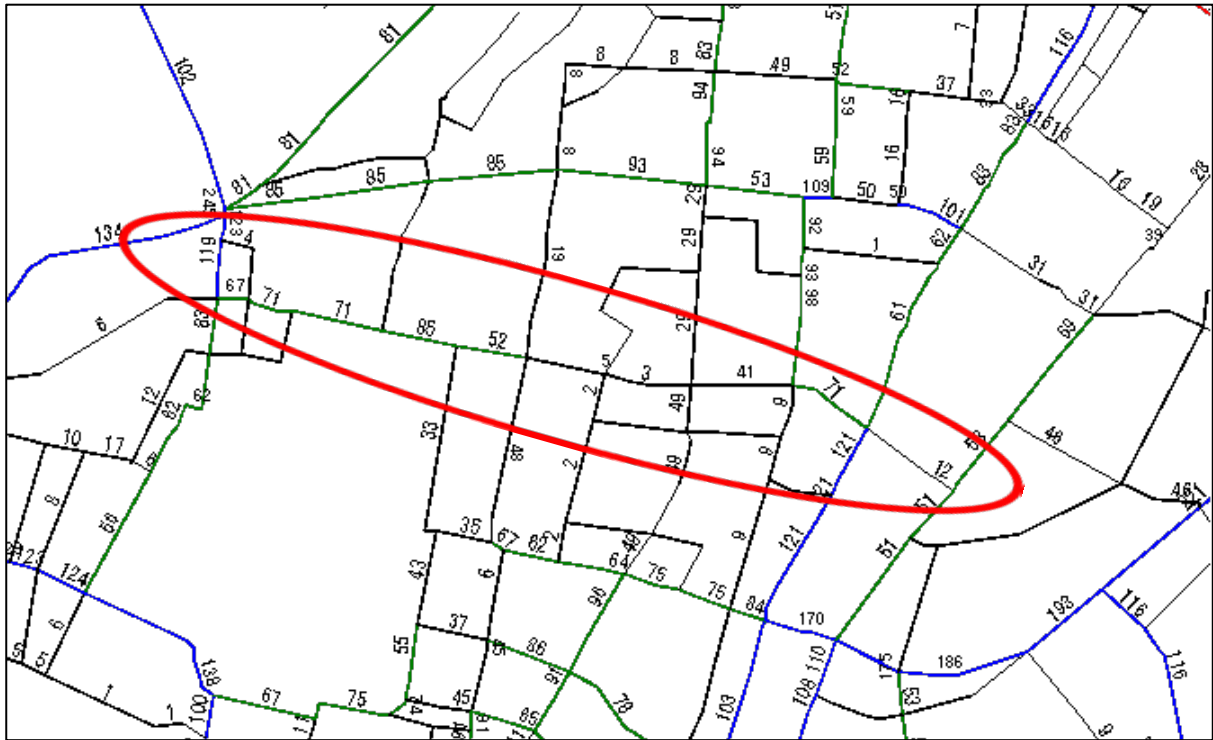
評価：計画見直し路線及び並行路線に混雑区間は確認されない



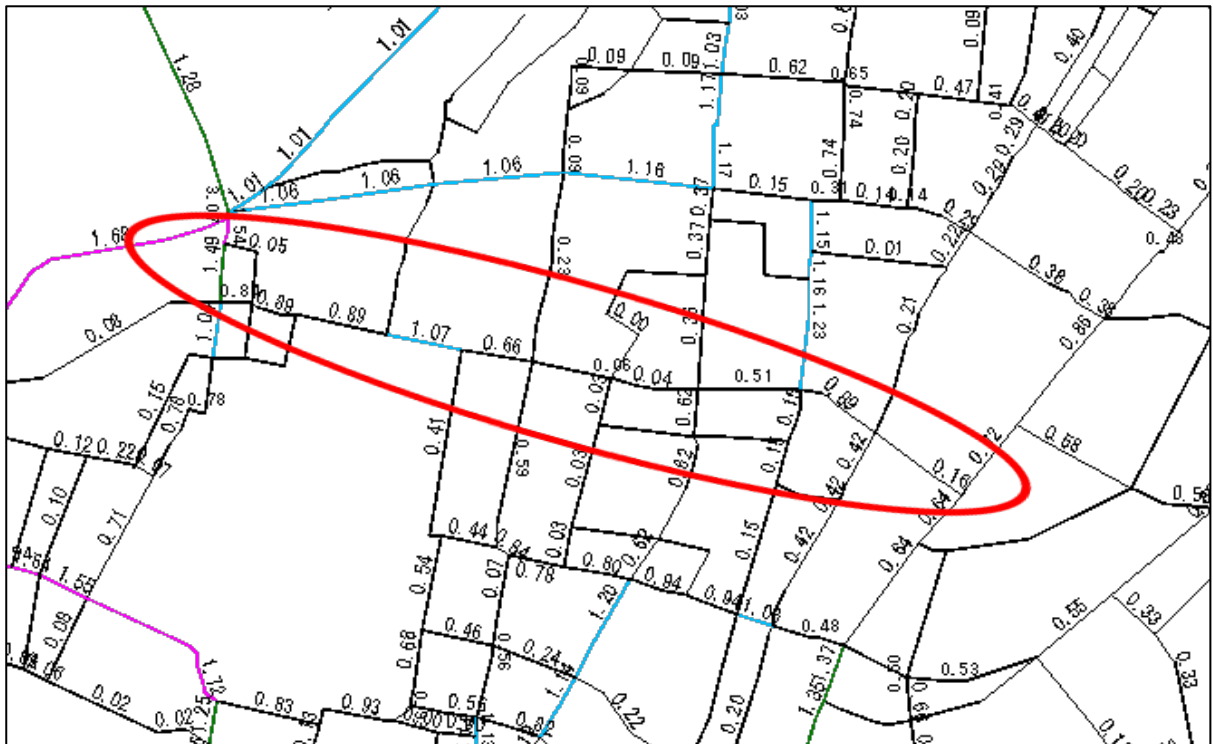
5-② [ 都市計画道路の計画見直し試案路線 整理番号3 ]

路線名：3・4・20号 紺屋町野田線

交通量 (台/日)



混雑度

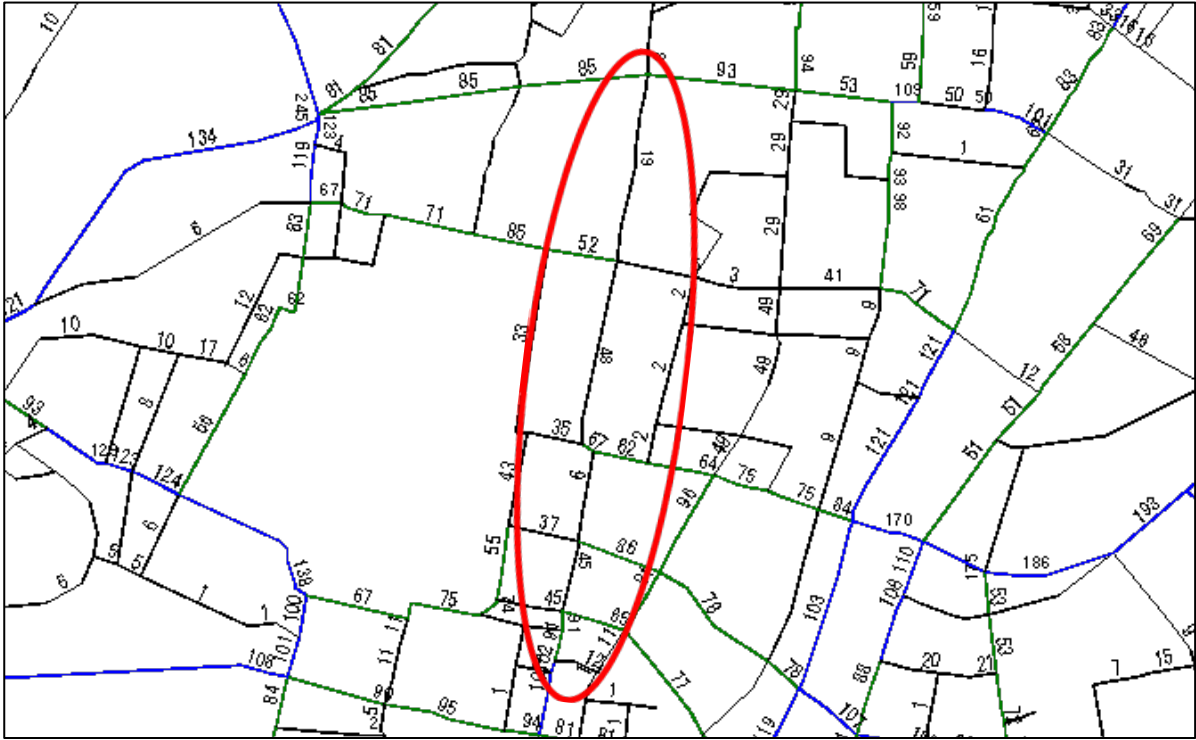


評価：計画見直し路線及び並行路線に混雑区間は確認されない

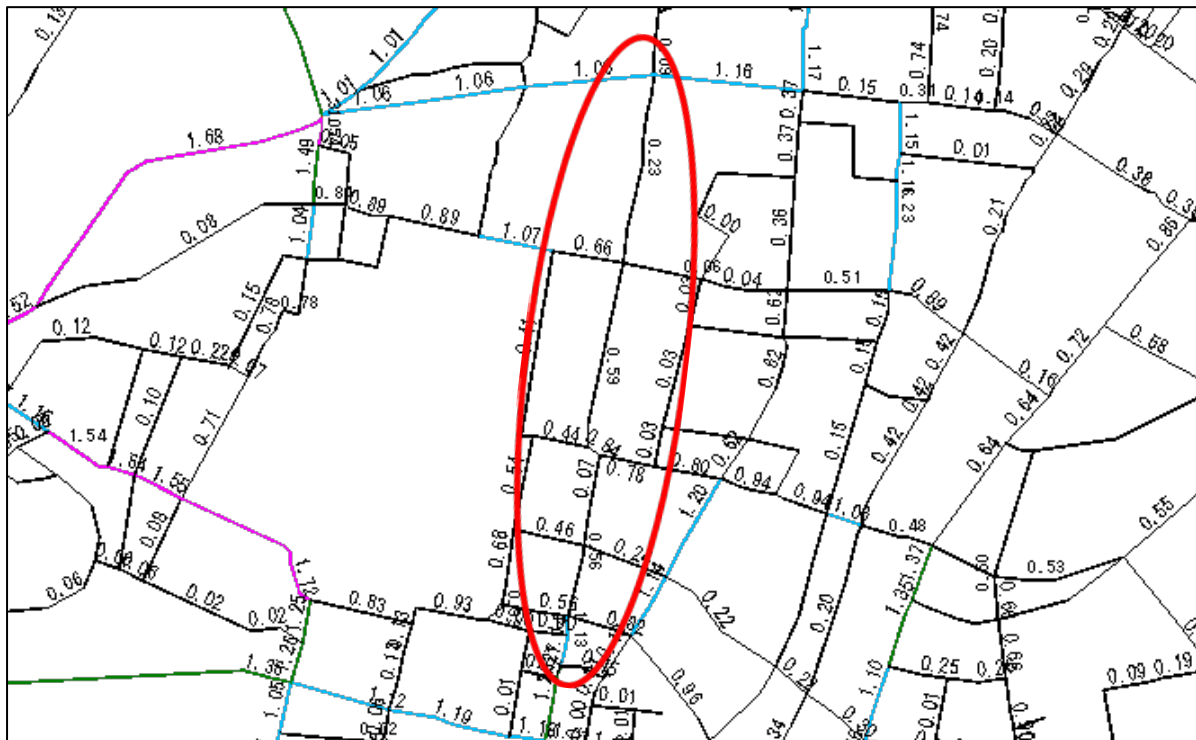
5-③〔 都市計画道路の計画見直し路線 整理番号4 〕

路線名：3・3・10号 元寺町向外瀬線

交通量（台／日）



混雑度

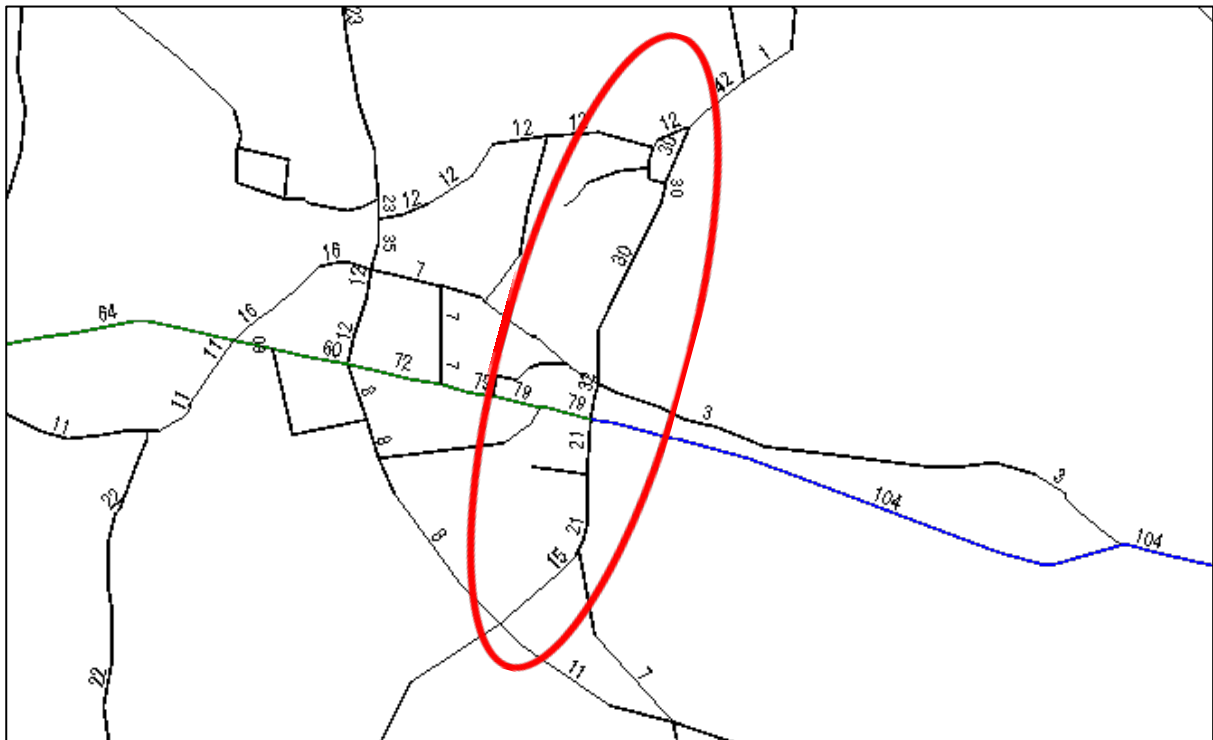


評価：計画見直し路線及び並行路線に混雑区間は確認されない

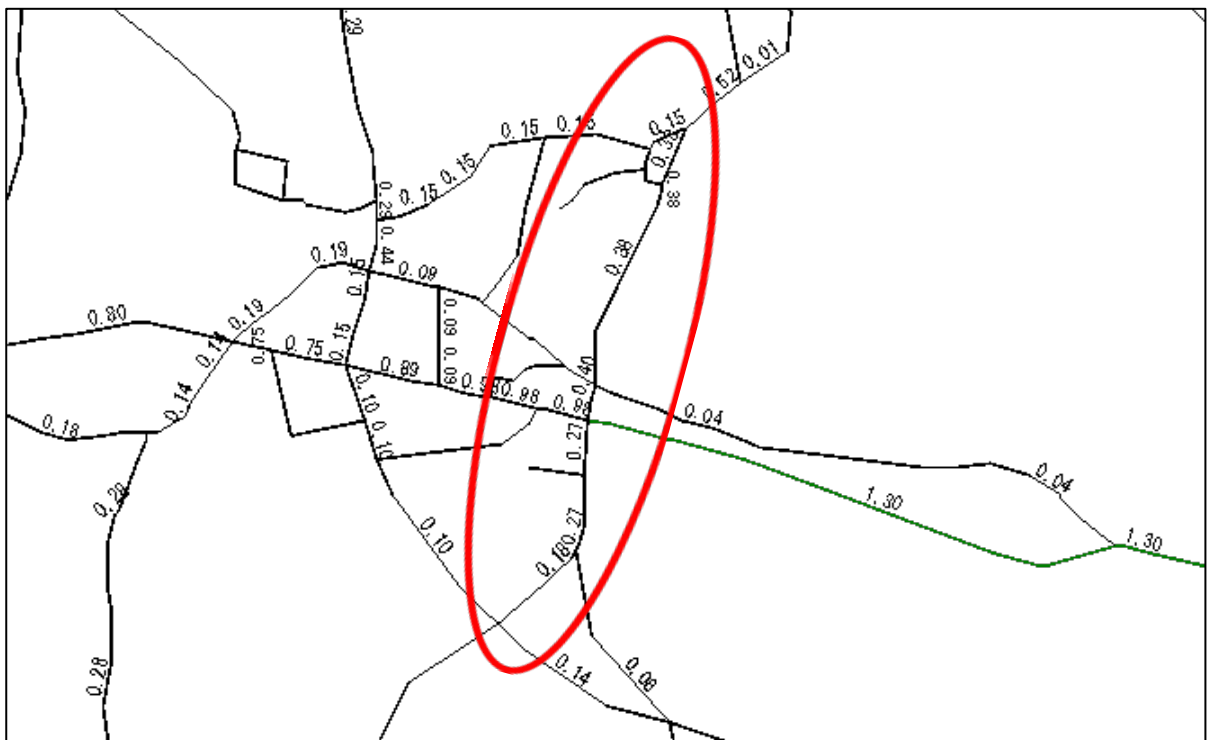
5-④〔 都市計画道路の計画見直し路線 整理番号11 〕

路線名：3・5・38号 真土野崎線

交通量（台／日）



混雑度

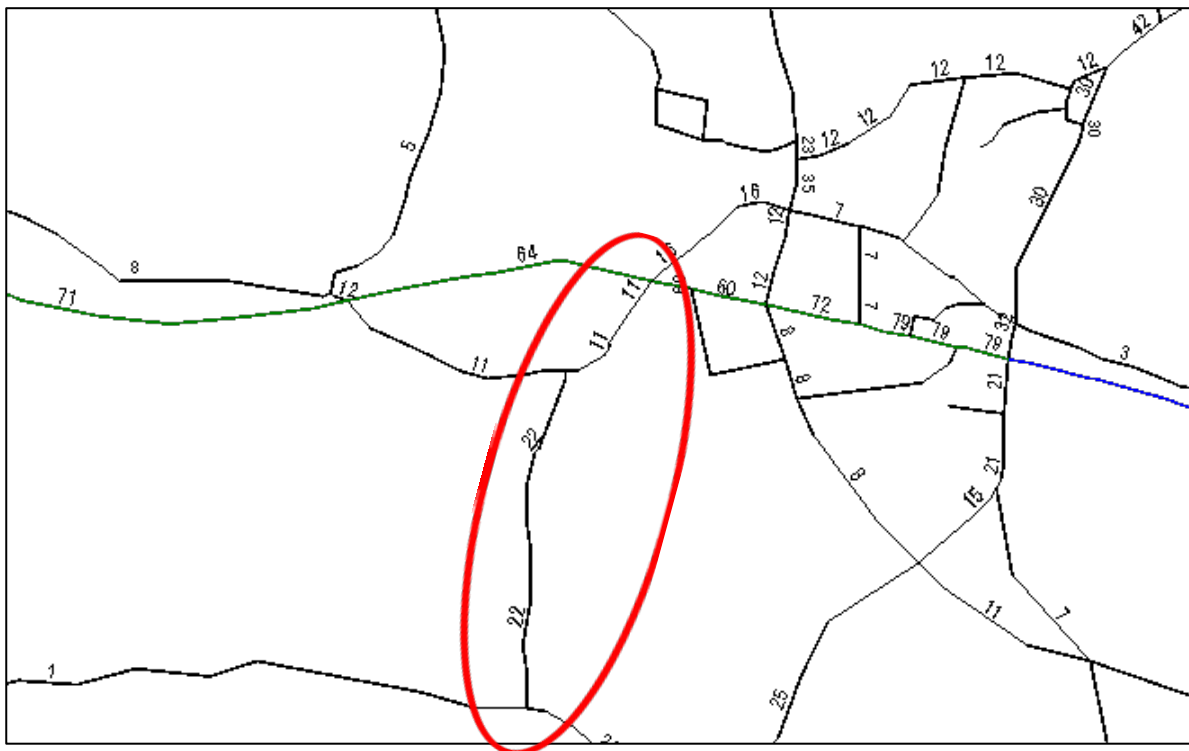


評価：計画見直し路線及び並行路線において、混雑度が1.25を超える箇所は確認されない。

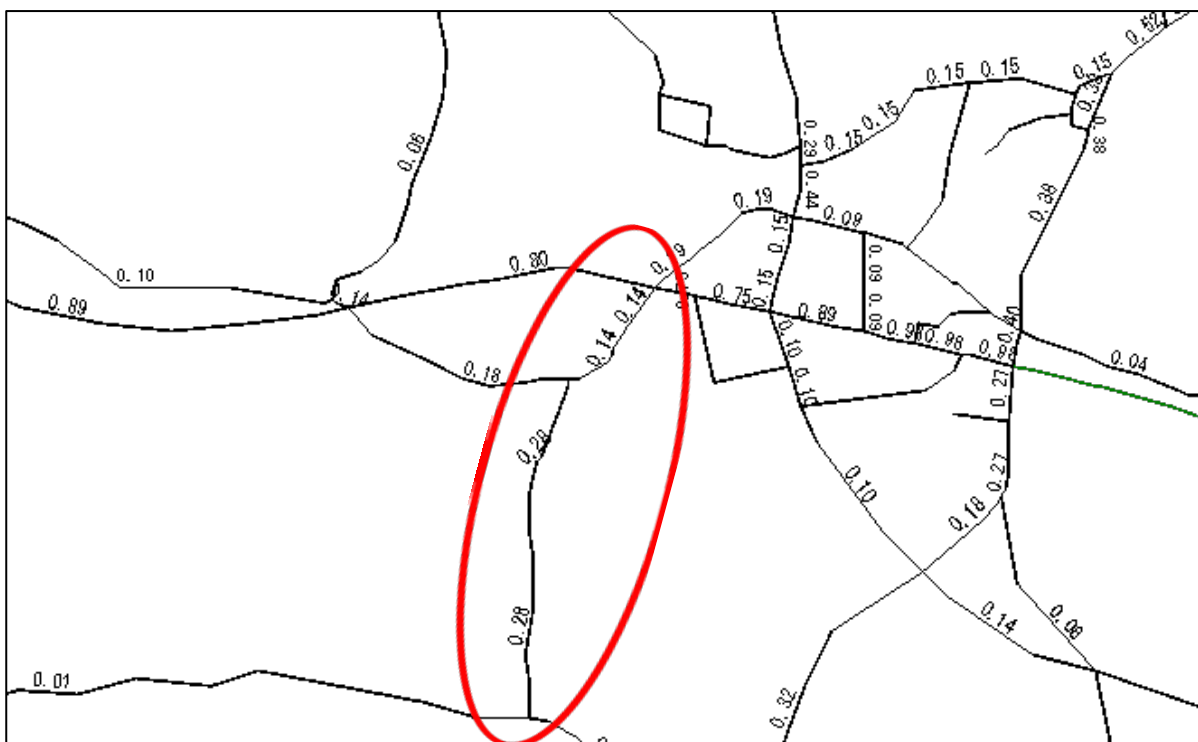
5-⑤〔 都市計画道路の計画見直し路線 整理番号12〕

路線名：3・5・39号 賀田兼平線

交通量 (台/日)



混雑度



評価：計画見直し路線及び並行路線において、混雑度が 1.25 を超える箇所は確認されない。

6 交通量推計結果

見直し試案路線の変更・廃止の影響を検討するため、見直しケース1を設定し交通量推計を行った。変更・廃止の内容は下表の通り。交通量推計（見直しケース1）において見直し試案路線（区間）の交通量は、僅少または比較的少ない。また、混雑度1.25以上の路線（区間）は確認されない。そのため、見直し試案路線の変更・廃止による交通配分上の問題は確認されない。

整理番号	対象路線名	現状 現道幅員(m)	見直し試案		平成42年得來交通量推計結果						交通調査による評価 (見直しケース1)
			計画の変更内容		フルネット		見直しケース1		見直しケース2		
			車線数	幅員(m)	交通量 (百台/日)	混雑度	交通量 (百台/日)	混雑度	交通量 (百台/日)	混雑度	
2	③3-3-8 紺屋町和徳町線	現道無し	4→2	25→16	115~171	0.33~0.49	85~93	1.06~1.16	現道無し	現道無し	交通量は比較的少ない。混雑度が1.25以上の平行路線なし。
3	⑪3-4-20 紺屋町野田線	10~11	-	直線部:16→14 交差点部:16 (変更なし)	80~98	1.00~1.22	67~85	0.84~1.07	95~134	1.39~1.67	
3	⑬3-4-20 紺屋町野田線	7.5	4→2	直線部:22→14 交差点部:22→16	76	0.22	12	0.16	11	0.14	
4	④3-3-10 元寺町向外瀬線	8~12.5	4→2	25→18	99~176	0.28~0.50	6~67	0.07~0.84	14~77	0.17~0.96	交通量は比較的少ない。混雑度が1.25以上の平行路線なし。
11	⑭3-5-38 真土野崎線	9	-	-	23~58	0.29~0.72	15~42	0.18~0.40	15~29	0.18~0.54	交通量は僅少。混雑度が1.25以上の平行路線なし。
12	⑮3-5-39 賀田兼平線	6~9	-	-	6~18	0.08~0.23	11~22	0.14~0.28	12~22	0.14~0.28	

推計ケース	検討内容	混雑度の区分	内容
フルネット	都市計画道路を全線整備したケース	1.75以上	慢性的混雑状態
見直しケース1	下図の幅員縮小路線と廃止路線を反映したケース その他の未整備路線は全て整備する	1.25以上 1.75未満	ピーク時を中心として混雑する時間が加速的に増加する可能性が高い状態
見直しケース2	未整備路線を全て整備しないケース	1.0以上 1.25未満	道路が混雑する可能性のある時間が1~2時間
		1.0未満	渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない

## 7 見直し試案路線の変更内容（まとめ）

見直し試案路線において計画の変更・廃止（車線数減少・幅員縮小等）による交通混雑は確認されない。そのため、見直し試案路線の見直しによる都市計画道路への交通配分上の影響は少ない。

なお、見直し試案路線の総合評価(参考値)は重要度ランク A～B が 3 路線(4 区間)、重要度ランク C が 2 路線(2 区間)となった。特に、重要度ランク C の路線は、1 桁得点と他路線に比べ大きく点差が開く結果となった。路線重要度を評価する総合評価においても交通量推計と同様の結果が得られた。

したがって、見直し試案路線 5 路線 (6 区間) のうち、3 路線(4 区間)を見直し候補路線、2 路線(2 区間)を廃止路線候補とした。

		見直し試案	
整理番号	対象路線名		区分
2	③3・3・8	紺屋町和徳町線	見直し候補路線
3	⑰3・4・20	紺屋町野田線	
3	⑱3・4・20	紺屋町野田線	
4	④3・3・10	元寺町向外瀬線	
11	⑳3・5・38	真土野崎線	廃止候補路線
12	㉑3・5・39	賀田兼平線	